

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表				小嶋機工株式会社 OHANA child care 実施日 2025年3月20日		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童2対職員1にて対応を行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			1階の為バリアフリーにて車椅子対応可能
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間にてミーティングを実施、目標を明確にし改善振り返りを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート実施、改善に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開を行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年2回の基本研修、入社時研修を行っている
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時に保護者と面談を行いながらアセスメント実施し計画書作成を行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日児童発達管理責任者を含め職員全員で活動プログラムを立案、実施している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日固定にせずカリキュラムを実施できるように会議を行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日・長期休暇などは様々な体験学習を実施し、学校登校日とはカリキュラムを変更設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1日のカリキュラムを、個別・集団活動を毎日実施を行い、計画案に対応している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝の職員ミーティングを実施を行っている。その日の注意点や児童の状況など周知徹底を行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				毎日帰りのミーティング実施を行っている。その日の注意点や児童の状況など周知徹底を行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日その日の状況や状態など細かく記録徹底を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			職員ミーティングを実施の際、定期的にモニタリングを実施、判断している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理責任者、児童発達支援管理責任者が出席し参加を行っている
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		各学校や関係機関など連携を行っている
	㉖	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		保護者を通し、医療機関と連携を行っている
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		各学校や関係機関など連携を行っている
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○	対象児童が居ないため未実施。今後連携を行う予定
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		各学校や関係機関など連携を行っている
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後交流機会を増やしていく
	㉛	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		関係機関など連携、参加を行っている
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や電話連絡など細かな状況を保護者と話し合い、共有に努めている
	㉝	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者と細かく話し合うことで、困りごとなど共有する事で、家庭でのアプローチ方法など助言、事業所でも共有する事で、統一した支援を行っている
保護者への説明責任等	㉞	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にて説明を行い周知している
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や電話連絡など細かな状況を保護者と共有を行い、状況に応じた助言を行っている
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後実施予定
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見があった場合、すぐに保護者と話し合いの場を設け、改善に努めている
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		連絡帳ツールを通し、周知している
	㊴	個人情報に十分注意しているか	○		徹底事項として厳しく対応管理実施している
	㊵	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		意思疎通研修に参加、視覚ボードや絵カードなど活用している
	㊶	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後より実施予定
	㊷	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時には保護者に説明を行い対応を行っている。職員研修にて実施している
非常時等の対応	㊸	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回実施
	㊹	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年2回実施 日々のミーティングにて職員に周知喚起を行っている
	㊺	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時にて保護者に説明を行い了承を得ている
	㊻	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時にて持病やアレルギーなど確認を行っている。対象児童には、細かな状況を保護者に確認の上、必要に応じて指示書など提出、対応を行っている
	㊼	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起きた際には報告書作成し、再発防止に努め、職員全員へ周知徹底を行っている

保護者向け 放課後等デイサービス自己評価表					小嶋機工株式会社 OHANA child care実施日 2025年3月20日	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
事業者向け放課後等デイサービス自己評価表	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			適切
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			適正かと思う
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフ	○			
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	○			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	○			様々な活動を行っているので楽しめている様子
提供	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			連絡帳で子どもの様子が分かりやすく伝えてくれるので助かっている
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
非常時の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	○			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○			
満足度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○			
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○			楽しく通所できている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	○			満足している

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
OHANA child care		2025年4月15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童2対職員1配置を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化、車椅子対応可能。 指導訓練スペース・遊びスペースなど理解しやすく配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		物の配置など理解しやすく配置している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室を設置することにより、個室や体調不良時にも対応できる	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝晩の職員ミーティングを毎日実施をおこなっている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意向を聞き改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティングや面談など設けており、業務相談などしやすい環境を整えている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年2回基本研修、入社時や各研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上に公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時に保護者との面談を通してアセスメントを行い、計画案を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング実施時には児童発達管理責任者 含め職員全員参加にてモニタリング会議を実施している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行われている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認事項として実施している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎日ミーティングを実施、様々なカリキュラムを提供している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日別カリキュラムを実施、固定しないように様々な活動カリキュラムを提供している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動時間・集団活動時間と1日のカリキュラムに分け活動を行う事で、計画に沿って支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝晩の職員ミーティングを毎日実施をおこなっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝晩の職員ミーティングを毎日実施をおこなっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の徹底を行い、検証や改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング実施を行っている。その都度見直しがある場合には新たな計画書を作成、実施を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理責任者・児童発達管理責任者が出席	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携を行いながら体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園や保育園など連携を行う事で、児童への共通理解や役割など共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園や保育園など連携を行う事で、児童への共通理解や役割など共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	今後地域関係機関と活動できるように整えていく	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や電話や対面での会話を通して、細かな状況を共有している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後家族が参加できる研修なども機会を作っていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にて保護者へ説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時にて保護者と面談を実施、意向に踏まえた計画書を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書の面談の中で説明を行い、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご利用日には細かな状況を共有している為、家庭での困り感など家庭より発信しやすい環境を整えている。場合によっては助言相談などを行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	まだ実施事例がない為、今後行っていく予定	今後様々な保護者間の交流機会を増やしていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れなどあった際には早急に対応を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPや連絡帳ツールなど活用し発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		厳重管理のもと管理保管を行っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードや視覚ボードなど活用をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	開所したばかりの為今後行う予定	今後地域社会との交流や機会を増やしていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年2回基本研修、入社時や各研修を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にアセスメントにて確認し、アセスメントの更新、その都度状況確認を行い対応している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアセスメントにて確認し、アセスメントの更新、その都度状況確認を行い対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年2回実施している 環境整備や安産確認を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年2回実施している 環境整備や安産確認、報告を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時には早急に事故報告作成し、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年回の基本研修を含め、日々のミーティングにて周知確認を徹底している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者へ説明を行い、計画書にも記載対応をしている	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 OHANA child care

公表日 2025年4月15日

利用児童数 2025年3月1日

回収数 10件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				広いスペース、死角が少ないので安心している	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	○				適切かと思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				バリアフリー対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				個人に合わせたトレーニングをしているかと思う	個々に合わせたカリキュラムの向上を行っている
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				様々な活動やトレーニングを行っているかと思う	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		○				
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○				契約時に説明を受けた	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		○				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	○				コドモンを活用し、こどもの状況など伝えやすい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				コドモンを活用し、こどもの状況など伝えやすい	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		○			まだ参加したことがない	今後実施予定
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				コドモンの活用が使いやすい 発信しているかと思う	日々のカリキュラムなど多く発信していく
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				細かなことでも報告してくれるので助かっている	楽しく学び成長へつながる事業所となるように向上していく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				楽しく通所できている 成長を感じている	楽しく学べる環境を整えていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				満足している	